

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく

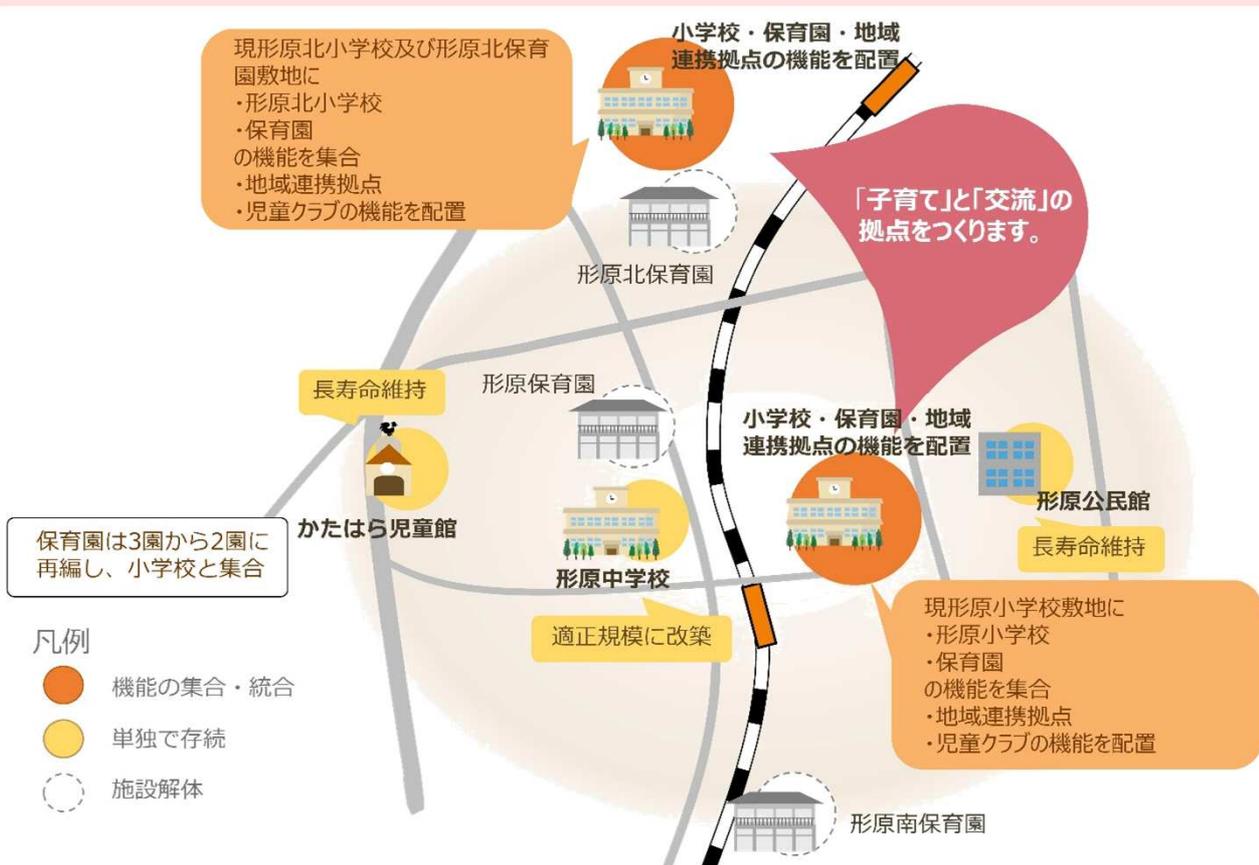
形原地区個別計画

コンセプト

小学校を中心にまとまりを生み、「子育て」と「交流」の拠点をつくる

施設再編の内容

- 形原小学校・保育園の機能を現在の形原小学校の敷地に集合させるとともに、地域連携拠点（公民館活動や地域と連携できる場所）の機能を設置することで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 形原北小学校・保育園の機能を現在の形原北小学校及び形原北保育園の敷地に集合させるとともに、地域連携拠点の機能を設置することで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 保育園は2園に再編し、それぞれ形原小学校、形原北小学校と集合します。
- 児童クラブの機能は、各小学校と同じ敷地に設けます。
- 形原中学校は、現地で適正規模に改築します。
- かたはら児童館、形原公民館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。



期待される効果

子育て環境の充実

- 児童クラブと保育園が近くにあることで、保護者による送迎等の負担が軽減します。
- 保育園と小学校が連携しやすく、子どもの就学がよりスムーズになります。
- 保育園を統合・適正規模化し、設備や職員を充実させることで、全ての園で低年齢児保育や延長保育の実現が可能となるとともに、子ども同士や保護者同士の交流が広がります。

交流の活性化

- 集まりやすい位置に日常的に多くの人を訪れる拠点ができることで、地区住民同士の交流が活発になります。

活動の拡大・充実

- 施設や設備の相互利用や運営面での連携により、特別教室での地域活動など、各施設の活動の幅が広がります。
- 高齢者が地域の活動に関わる機会など、利用者の活動機会が増えることが期待されます。

費用の縮減

- 施設の供用や規模の適正化により維持更新費用が縮減できます。また、運営の効率化や一元的な管理により、運営面での費用の縮減が可能です。

- 施設整備についての詳細な検討を行う中で、駐車場・グラウンドなど、必要な機能を確認し機能の維持に努めるとともに、駐車場が不足する場合は、周辺敷地を含めて必要な台数確保に努めます。
- 子どもの安全確保や学校教育に支障が出ないように十分に配慮して、施設の設計や運営方法の検討を進めます。
- スペースの相互利用や運営での連携が円滑に行われるよう、設計上の工夫を行います。
- 施設の整備に際して、若い世代が交流活動や学習活動で利用しやすい機能や運営方法を考えます。
- 施設整備と並行して、周辺道路の安全性についても検討します。
- 高潮浸水想定区域にある公民館については、ソフト対策を中心にリスクを低減する取り組みを検討します。

整備を進める上で配慮すること

施設整備についての今後の取り組み

| | | |
|---------|---|--|
| 形原小学校 | 事業実施に向けた 基本計画づくり ・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 ・ソフト事業検討 ・運営実務者との協議 | 基本計画に基づく事業実施 設計・工事等の具体的な時期は、 ・基本計画の内容 ・他地区の地区個別計画の内容 ・財政状況 等を踏まえて検討します。 |
| 形原保育園 | | |
| 形原北保育園 | 事業実施に向けた 基本計画づくり ・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 ・ソフト事業検討 ・運営実務者との協議 | 基本計画に基づく事業実施 設計・工事等の具体的な時期は、 ・基本計画の内容 ・他地区の地区個別計画の内容 ・財政状況 等を踏まえて検討します。 |
| 形原南保育園 | | |
| 形原北小学校 | | |
| 形原中学校 | 現地で存続 | 老朽化状況や築年数を踏まえ順次改築を実施 |
| かたはら児童館 | | 現地で存続 |
| 形原公民館 | | 現地で存続 |

本計画の見直しについて



- 本計画は、今後の社会状況、経済・財政状況、ニーズの変化に対応するため、見直しを行い内容を変更する場合があります。

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく形原地区個別計画

発行 愛知県蒲郡市
 愛知県蒲郡市旭町17番1号
 TEL 0533-66-1111 (代表)

発行年月 令和5年9月



地区の皆様の思い

蒲郡市では、小中学校・保育園・児童館・公民館の再編にあたり、地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるように、地区住民の皆様のご意見を伺う機会を設け、市民協働により、中学校区を単位とした「地区個別計画」を策定することとしています。

形原地区の皆様からご意見を伺う機会として、「形原地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を令和4年7月から令和5年2月にかけて開催しました。また、オープンハウス(パネル展示型説明会)を地区内4会場及び中学校で行い、ワークショップ参加者以外のご意見を広く伺いました。

地区の皆様のご期待をもとにして、市は、この「形原地区個別計画」を策定しました。

以下は、ワークショップに参加された皆様から形原地区の将来を考える上で重視することとしていただいたご意見です。

交流

- 地域の人と交流できる場所がほしい。
- 公民館とほかの施設とが集約されれば、高齢者や他世代が交流できる。
- 公民館の利用者が増えれば、新たな機能が併設されるなどの相乗効果が生まれそう。
- 高齢者の身近に居場所がほしい。
- 外国人も交流できるよう、工夫するとよい。

子どもの居場所

- 中高生が気軽に使える公共施設があるといい。
- 児童館は小さな子どもが多いので中高生は利用しづらい。
- 地域の良さを生かした遊びができる施設がほしい。
- 子ども会がなくなったので、小中学生の居場所を作りたい。
- 部活動が廃止になった分は、公民館活動で補完してほしい。

安全

- 小学校・保育園の施設は、とても老朽化が進んでいる。
- 施設を複合化することで、避難先が減るのは心配だ。
- 公民館は高潮浸水想定区域にあるが、立地の安全性は確保されているか。
- 学校周辺の交通環境は、整備・改善が必要だ。
- 学校に他機能を集合させるのは、セキュリティ面が不安だ。

子育て

- 保育園と小学校(児童クラブ)が集約されれば、送迎の手間が減る。
- 乳幼児が安心して遊べる場所が少ない。トイレがきれいな公園ができるといい。
- 子どもには広い校庭、園庭のある学校や保育園で育ってほしい。
- 形原小学区と形原北小学区とで、教育には不公平のないようにしたい。
- 学校施設の複合化は、施設の共有をできるコスト面や教育面でメリットが大きい。

利便性

- どの施設も駐車場が狭く、数も足りていない。
- 形原保育園、形原南保育園は道路が狭くアクセスが悪い。
- 図書館分室は使いにくい。施設利用や複合化で、利用しやすい図書機能を設けてほしい。
- 学校の移転があると通学距離が長くなる地区もあるので対策が必要。
- くるりんバスをもっと活用できるとよい。

その他

- 形原は自然豊かで住みやすい。
- 支所跡地は土地としての課題もあるが、駅前でも便利な場所。地元と協議しながら活用の検討を進めてほしい。
- 文化広場も公民館活動と一緒に考えたい。
- 祭りなど地域の伝統は継承していきたい。
- 若者たちが今後も住み続けたいと思えるまちになってほしい。

- ◆ ワークショップでのご意見の詳細やオープンハウス(パネル展示型説明会)でのご意見等は、市ホームページに掲載しています。